

領収書

毎度ありがとうございます

金子保利 様

[別納引受] (定)	18.0g	8.5g
区内特別基 @72	1,195通	¥86,040
小計		¥86,040
第一種定形	45通	18.5g
@82		¥8,690
小計		¥8,690
郵便物引受合計通数	1,240通	
課税額計	489,730	
(内消費税等)	¥6,646	
非課税額計	¥0	
合計	¥89,730	
口預り金額	¥89,730	

印紙税申告納付
につき
郵便局
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-1
取扱担当: 金子 郁夫
連絡先: 佐野馬門郵便局
TEL: 0283-22-4251

領 収 書

平成30年 9月 11日

金子 保利 議員

金額
(消費税込)

1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

畠原 優

領収書

様

[別納引受] (定)	18.0g	8.5g
区内特別基 @72	1,172通	¥84,384
小計		¥84,384
第一種定形	44通	17.5g
@82		¥3,608
小計		¥3,608
郵便物引受合計通数	1,216通	
課税額計	487,992	
(内消費税等)	¥6,517	
非課税額計	¥0	
合計	¥87,992	
口預り金額	¥87,992	

印紙税申告納付
につき
郵便局
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-1
取扱担当: 早川 舞
連絡先: 佐野馬門郵便局
TEL: 0283-22-4251

領収書

毎度ありがとうございます

金子保利 様

[別納引受] (定)	18.0g	8.5g
区内特別基 @72	1,195通	¥86,040
小計		¥86,040
第一種定形	45通	18.5g
@82		¥8,690
小計		¥8,690
郵便物引受合計通数	1,240通	
課税額計	489,730	
(内消費税等)	¥6,646	
非課税額計	¥0	
合計	¥89,730	
口預り金額	¥89,730	

印紙税申告納付
につき
郵便局
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-1
取扱担当: 金子 郁夫
連絡先: 佐野馬門郵便局
TEL: 0283-22-4251

領 収 書

平成30年 9月 11日

金子 保利 議員

金額
(消費税込)1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

畠原 優

領収書

様

[別納引受] (定)	18.0g	8.5g
区内特別基 @72	1,172通	¥84,384
小計		¥84,384
第一種定形	44通	17.5g
@82		¥3,608
小計		¥3,608
郵便物引受合計通数	1,216通	
課税額計	487,992	
(内消費税等)	¥6,517	
非課税額計	¥0	
合計	¥87,992	
口預り金額	¥87,992	

印紙税申告納付
につき
郵便局
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-1
取扱担当: 早川 舞
連絡先: 佐野馬門郵便局
TEL: 0283-22-4251

(5) 広報費

領収書

5 の 3 ページ

日付: 2019年1月13日
領収書番号: R-1901124149

金子 保利 御中

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com**¥17,194-**但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1901124149-01	チラシ・フライ ヤー,A3,両面カラー, 光沢紙(コート),標準: 90kg,折り加工: 2 つ折り(センター折り)	3,000部	受付日確定後 5日以内	¥15,920

注文内容:	商品:	¥15,920
注文合計:		¥15,920
消費税:		¥1,274
ご請求合計金額:		¥17,194

お支払い方法: コンビニ支払い

納品書

31年1月21日

No. _____

金子やすとし 様

下記のとおり納品いたしました

栃木県佐野市越名町1282

高橋印刷

TEL(0283)22-2298・FAX 22-4687

品 名	数 量	単 価	金 額
長3ミスイロク0 カラーペーパー印刷	2000枚	14-	28000-
消費税			2240-
			合計
			¥30240-

毎度ご用命ありがとうございます

消費税							

毎度ご用命ありがとうございます

合計 ¥30240-

領收証

No. _____

金子やすとし 様

31年1月21日

領収金額 ¥30240 円

但し 長3封筒印刷代

上記金額正に領収いたしました

高橋印刷



〒327-0822 栃木県佐野市越名町1282

○ TEL (0283) 22-2298

○ FAX (0283) 22-4687

金子やすとし 市議会報告 2018 春号

〒327-0821 佐野市高萩町 1206-6 22-2289 E-mail Yasutoshi@kaneko.name



平成29年12月議会と平成30年2月議会の議会報告です。

平成30年度 一般会計予算 359億7000万円 特別会計予算 290億9200万円
合計 750億6200万円(前年度比△42億8460万円 5.4%減)

一般会計・特別会計の主な新規・継続・充実事業

*国道50号線沿線開発構想策定事業(新規) 50万円 政策調整課

- 立地特性を生かした産業振興に寄与する計画的な土地利用を推進するため、国道50号の開発構造を策定する。

*大学等活性化支援事業(新規) 200万円 総合戦略推進室

- 市内の大学等が特徴を生かして行う魅力作りに対して補助金を交付し、もって市内大学等の活性化を図り、若者の市内定住を促進する。

*日本女性会議開催事業(継続) 260万円 人権・男女共同参画課

- 日本女性会議2019年の大会を円滑に開催するために、実行委員会へ交付金を交付するほか、金沢大会において開催 PRを行う。

*子どもふれあい文化芸術事業(新規) 82万円 文化振興課

- 子どもたちの豊かな心を育むため、市内小学校を訪問し、間近で本物の音楽や美術等に触れる機会を提供する「アウトリーチ」事業を開催する。

*福祉バス更新事業(新規) 5014万2000円 ・福祉バス(大型バス・車いす収容可能) 1台購入

- 社会福祉協議会へ依頼する。茂呂山福祉会館へ保管。社会福祉課

*敬老祝金贈呈事業(減額) 1816万6000円 いきいき高齢課

- 長寿を祝福し敬老の意を表するため、敬老祝金を交付する。

*99歳 2万円(旧5万円) *101歳以上 2万円(旧5万円) ・据置 88歳(2万円)100歳(10万円)

* (仮称) 高萩中央公園整備事業費 6000万円 (継続)

- 既設不要物撤去工、敷地造成工及び雨水排水設備工等の整備工事を行う。

*国庫補助金が要望の半分程度しか認められないため、事業が大変遅れております。このような国の補助金が続くことになりますと完成は平成32年度にずれ込むことになりそうです。

*市民病院等移行期運営支援事業 5億円 (新規) 市民病院管理課

- 佐野市民病院及び介護老人保健施設あそヘルhosの民設民営化に伴う移行期の運営費を支援する。*今後5年間で15億円支援する。

*特定教育施設給付事業 5億9489万6000円(充実) 保育課

- 子ども・子育て支援制度に移行した認定こども園及び幼稚園に対する教育認定を受けた児童にかかる給付の支払い。

田村耕一生誕100年記念事業 145万円(新規) 陶芸館

・田村耕一氏の生誕100年を記念して、講演会等の記念事業を行い広く検証することにより、人間国宝田村耕一陶芸館の来訪者の増加により、中心市街地の活性化を図る。

※仮称)出流原 PA スマートインターチェンジ整備事業 4813万1000円(新規)北関東沿線開発推進室

・東日本高速道路株式会社と連携して、(仮称)出流原 PA スマートインターチェンジの整備(詳細設計、地質調査、用地測量等)を実施する。*4つ目のインターチェンジを平成32年度の供用開始に向け、事業が始まります。

※市道通学路整備事業 350万円(新規) 道路河川課

・佐野市通学路交通安全プログラムにおいて、各小中学校より危険箇所として要望された市道通学路にて道路改良を必要とする箇所の整備を行う。

※国民健康保険特別会計(事業勘定) 7029万円(新規) 医療保険課 【特別会計】

・糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化の予防が必要と思われる被保険者に対する保健指導。

※公共下水道特別会計 地方公営企業法適用事業 2000円(継続) 公共下水道課 【特別会計】

・平成32年度から地方公営企業法適用に向けて、固定資産の調査、評価及び企業会計システムの構築を行う。

※介護保険特別会計(保健事業勘定) 介護支援ボランティアポイント事業 52万3000円(新規)

・高齢者の介護予防や生活支援ボランティア活動に対し、ポイントを付与することにより、地域の介護・生活支援の取組を推進する。 【特別会計】

※※予算審査特別委員会※※

一般会計・特別会計とも質疑時間は60分であります。一般会計質疑は、3月13日(火)午前9時～60分有効に使い切りました。質疑内容は両会計共あらかじめ通告してありますので明解な答弁を頂きました。主な質疑は、始めに、予算規模と今後の人口減少による歳入不足の対応について、お聞きしました。次に、法人市民税、2億8077万増の要因について、固定資産の土地建物の評価替えによる影響。地籍調査事業は毎年0.2h m²の事業では1780年も掛かってしまうため事業拡大をすべきとお聞きしました。コンパクトシティ構想策定事業について、定住移住促進事業、日本女性会議開催支援事業についてお聞きしましたところで終了。

特別会計質疑は、3月14日(水)午前9時～42分30秒行いました。国保事業の財政運営が栃木県となり、保険税の資産割分がなくなることから平均で一世帯約15,000円程度安くなります。公共下水道事業は、農集排水処理施設の接続すること。自家用有償バス事業では、有償バスの空白地区を無くす方針。最後に水道事業会計をお聞ききました。

※※高萩保育園跡地利活用の要望書※※

平成30年2月19日(月前9時30分から市長公室において、岡部正英市長へ跡地利活用として、公園整備、南面道路の拡幅等の「高萩保育園跡地利活用の要望書」を提出しました。

当日は、地域の代表として、齊藤和夫様、高萩町各種団体代表として、津久井三郎環境衛生委員会長様と私と三人でお伺い致しました。

当局からは、岡部市長、財産管理課長、保育長立会いものと要望書を齊藤様から市長へお渡しました。市長から、よく検討させていただきますとのお話をいただきました。



議会のこぼれ話…ある常任委員会委員長が公的病院とは何ですかと質疑しました。この方は、以前にも地方消費税とは何ですかと質問されました。また、3月7日(水)に新合保育園閉園に伴うお別れ会の挨拶の中で、「私が新合保育園」を復活させますと話されたそうです。1期の方ではありません。

成29年第5回定例会 一般質問

1. 私道整備補助制度の創設について

(1) 私道の税金について(主な答弁)

答弁: 平成21年度から、2戸以上で利用している道路は非課税としている。

(2) 建築基準法による後退箇所の整備及び位置指定道路の整備について

答弁: 寄付の無い後退部分の整備は、無償承諾書をもらい整備している。

(3) 市民からの道路整備要望の優先順位について

答弁: 道路整備の優先順位評価基準の策定に関しましては、今後のインフラ整備において透明性の高い道路整備を進めていく上で必要であることは認識しておりますので、今後の研究課題とさせていただきます。

(4) 市道整備補助制度の創設について

答弁: 市道整備を優先するため、現段階では難しい。

2. 隅切り条例の制定について

(1) 隅切り条例について

答弁: 先進地の事例を精査し、狭隘道路のさらなる利便性の向上に資する隅切りにつきましても研究してまいりたいと考えております。

3. やわらかい区画整理事業について

答弁: 今後、総合計画や都市計画マスタープラン等に基づき、重点的に整備改善すべきエリアを定め

、市街地整備の投資を集中する考え方をもとに計画し、整備を進めてまいります

答弁に対する感想

* 今回の私道整備補助制度の創設、隅切り条例の創設、それからやわらかい区画整理事業について質問いたしましたが、残念ながら今回も芳しい答弁はいただけなかった感がございます。

その中で、私道課税は平成21年度から2戸以上は非課税としておられますのは、佐野市を含め県内では5市1町が取り組まれております。このような先進的な取り組みをなさっておられることがわかつたことが、今回の質問の収穫の一つであります。

他の質問の答弁は、以前の答弁と変わりなく味気ないものがありました。

重要なことは、佐野市民のために住みよいまちづくりにこそ財源を投入して、地道な事業になりますが、市民が安心して暮らせるまちづくりをすることが一番肝要なことであると私は思っております。



金子保利 議員

平成30年第1回定例会 一般質問

1. 消防行政について(質問と主な答弁)

(1) 少子高齢化に伴う消防団の方向性について

* 平日昼間の火災や災害時に出動できない分団は2個分団あるため、将来は分団の統合を視野に入れ対策を講じていきたい。

(2) 女性消防団員について

* 女性消防団員が消火活動等の現場活動を実施している消防団もあることから、将来的には、女性消防団員を災害現場へ出動させることについての検討は必要であると考えられます。

(3) 女性消防士について

* 今後、女性活躍を積極的に推進するために、アドバイザー制度を活用し、講義、講演会などの早期開催を検討したい。

(4) 救急救命士について

* 職務内容や改善については、今後、救急救命士の負担を少しでも軽減できるよう、先進地の情報等を研究史改善に努めて参りたい。

(5) 消防士の再就職について

* 民間救急救命士の有資格者や退職後の救急救命士の資格を有效地に生かすためには、有意義なご提案であると考えられますが、病院前救護統括体制認定機構が設立されて、間もないことから、他の自治体や総務省消防庁の動向も踏まえながら今後、調査研究して参りたい。

(6) 佐野市南部地区の救急体制について

* 南部地区的救急対応施設を含め、今後もさらに検討を重ね、本市の安心安全のために、より効果的で効率的、かつ、強力な消防救急体制を確立するために努力して参りたいとの答弁。

(3)

陳情第1号 道路の待避所設置についての陳情

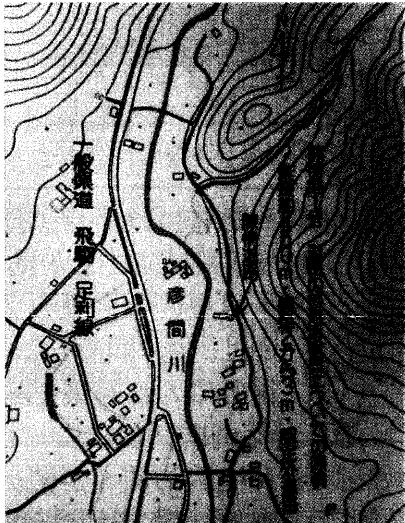
平成30年2月13日、佐野市飛駒町2593「栗原文雄氏」他32名より、上記の陳情が提出されました。

・陳情の理由

- (1) 交互交通ができず車による衝突事故も起きていること。
- (2) 道路幅が狭く、緊急車両の通行が困難であること。
- (3) 場所によりカーブでの見通しが悪く危険であること。
- (4) 地域住民のみならず多くの人々が利用していること。

*議会での審議の経過

3月5日(月)午前9時より、建設常任委員会で審議され、早川委員が反対討論、菅原委員が賛成討論を行い、採決の結果・賛成：亀山春夫副委員長、井川克彦委員、菅原達委員
・反対：飯田昌弘委員、早川貴光委員、賛成多数で採択となりました。



(陳情地 略図)

*3月16日(金)議会最終日、本会議において、陳情第1号について、反対討論を行いました。

陳情第1号「道路の待避所設置についての陳情」について、反対の立場で討論いたします。

始めに、各種要望に対する道路河川課の優先順位及び基本方針が当陳情の質疑において、明解に述べられました。1点目は、危険度の高い通学路、2点目は、生活道路で交通量の多い道路、3点目は、道路に排水機能がないため、冠水する道路であることの3点であることが示されました。

そこで、当陳情に対する反対理由を申し上げます。

第1に、飛駒町の道路を俯瞰した場合、一般市道認定道路が42路線あります。その内4m未満の整備されていない狭い市道が30路線あり、また、通学路や交通量の多い市道が何路線もあることから、当陳情道路は、緊急性、公共性が乏しいものであります。

第2として、当陳情道路は、生活用道路として利用されておられる方は、数軒であり、陳情道路の先は他の道路に接続してない行き止まりとなっております。

よって、陳情を以て道路改良を要するような案件にはあたらないと思います。

第3として、当陳情道路は認定外道路であります。市内には、市道認定になっておりながら道路の拡幅、側溝整備、舗装工事、隅切り設置等、整備を待っている要望が約200件近くもあるとお聞きしております。従って、市道認定道路整備を優先すべきであります。

す。

第4として、当陳情道路は、費用対効果の点からも優先順位は低く、道路整備の基本方針にも沿ったものではないと思います。

第5として、当陳情を提出する前の平成26年2月に、道路の拡幅と市道に格上げの要望が出されております。

道路河川課としては、市道の改良、整備を優先しなければならないことから、極めて難しい要望でありますと話をされたそうです。

以上のことから、当陳情を採択することは、佐野市の道路整備事業の年次計画、長期計画を根底から見直しをしなければならなくなり、道路行政に多大な支障を来すことになりかねません。また、200件近くの要望者の方々や十年も首を長くして順番を待っておられる方々の気持ちを付度しなければならないと思います。

以上のことから、当陳情には反対を致すものであります。議員各位のご賛同を賜りますようお願い申し上げ、反対討論と致します。

採決の結果、賛成多数「15対8」で採択となってしまいました。賛成する根拠が理解できません。

・賛成した議員(15人) * 反対した議員(8人)
(政友みらい) (蒼生会)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 篠原一世 | 1. 飯田昌弘 |
| 2. 井川克彦 | 2. 高橋 功 |
| 3. 川嶋嘉一 | 3. 鈴木靖宏 |
| 4. 小暮博志 | (日本共産党議員団) |
| 5. 亀山春夫 | 1. 鶴見義明 |
| 6. 慶野常夫 | 2. 岡村恵子 |
| 7. 山菅直巳 | (会派に属しない議員) |
| (公明党議員会) | 1. 早川貴光 |
| 1. 若田部治彦 | 2. 小倉健一 |
| 2. 木村久雄 | 3. 金子保利 |
| 3. 菅原 達 | |
| 4. 本郷淳一 | |
| (新風) | |
| 1. 春山敏明 | |
| 2. 田所良夫 | |
| 3. 横田 誠 | |
| 4. 横井帝之 | |
| (蒼生会) | |
| 1. 久保貴洋 | |

* 佐野市議会は、市街化地域の狭くて危険な通学路や雨が降れば冠水する市道を後回しにして、行き止りで認定外道路整備を採択しました。

議員は、佐野市全体を展望して、市民や佐野市のためになるかならないかを第一義に判断できる人でなければならぬと思います。貴方が推薦した議員はどちらですか？

ネット印刷の raksul [ラクスル] | 名刺、チラシ…激安で印刷

Page 1 of

請求書

日付: 2018年3月27日
請求書番号: B-1803276423

金子 保利 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.comこの度は、ラクスルをご利用いただきまして誠にありがとうございました。
下記の通り、ご請求申し上げます。

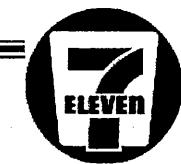
ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1803276423-01	チラシ・フライ ヤー,A3,両面カラー, 光沢紙(コート),標準 準:90kg,折り加工: 2 つ折り(センター折り)	2,500部	受付日確定後 2日以内	¥21,780

注文内容:	商品:	¥21,780
注文合計:		¥21,780
消費税:		¥1,742
ご請求合計金額:		¥23,522

お支払い方法: コンビニ支払い

※広報費の1ページの議会報告書郵送代(124回通年89,130円)は、
平成30年度の計上ですか。印刷代￥23,522円(2,500部)は、
平成29年度に計上しております。
よって印刷費の請求書と領收書の名前を添付致します。

お客様控



インターネットショッピング払込票

お支払いのみ

店舗での
お渡し商品なし

受付方法	前払い(現金支払い)
お客様名	金子 保利 様
払込先名	ラクスル(GMOペイメントゲートウェイ)
払込票番号	7191-36058-9786
払込金額	23,522円
払込期限	2018年4月26日(木)
お渡し方法	払込先の指定する方法にて提供

★お支払いと商品お受取りの流れ

- (1)最寄りのセブン-イレブンでのこの払込票を提示してください。
- (2)払込金額をお支払いください。払込票は領収書と共に持ち帰りください。
- (3)お支払い頂いた情報が払込先に通知されます。
- (4)商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。
(セブン-イレブン店舗での商品のお渡しはありません!)

ご注意!(必ずお読みください)

- ・お支払いは上記払込期限日までに現金、nanaco(nanacoポイントは付与されません。)にてお願い致します。
(右記の支払方法はご利用できません。「nanaco以外の電子マネー」、「クレジットカード」、「クオカード」。)
領収書は大切に保管してください。店舗において再発行は致しません。
払込期限を過ぎてレジでのお取扱いが不可能になった場合、セブン-イレブン店舗ではお金をお受けすることはできません。
払込期限を過ぎた場合にはお取引についての責任を負うことができません。
- ・ご注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、セブン-イレブン店舗ではお受けできません。
- ・ご不明な点がございましたら、下記連絡先にお問合せください。

お客様用 連絡先 03-4530-3733, contact@raksul.com

払込先専用 注文番号: 18032700000117504653

セブン-イレブン
左里予田沼北店 1810-7
栃木県佐野市田沼町1810-7
電話: 0283-62-7771 レジ#1
2018年03月27日(火) 15:09 貢011
外-セバヨウ北ヶ付込領収書

お客様控

金子 保利

¥23,522

払込先名 ラクスル (GMOペイ
メントゲートウェイ)
お客様用連絡先
03-4530-3733, contact@raksul.com

払込票番号 7191-36058-9786
2018年03月27日



金子やすとし 市議会報告 2019新春号

〒327-0821 栃木県佐野市高萩町1206-6 ☎ 0283-22-2239
携帯 090-3331-4257 E-mail yasutoshi@kaneko.name



今回の市議会報告は、平成30年6月・9月・12月定例会3回分の一般質問を主の報告です。

平成30年12月定例会主な一般質問

防災井戸についての質問

民間所有の井戸を活用して、災害時協力井戸として登録していただき、有事に備えるべきと考えますが、当局のお考えをお伺い致しました。

行政経営部長の答弁

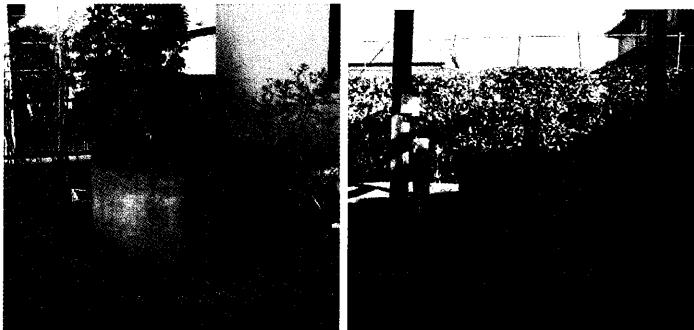
議員ご指摘のとおり、大規模な地震等の災害発生時には、民間所有の井戸の活用は大変効果があったことから、各町会や自主防災会など地域ごとに井戸を把握し、有事に備えることの必要性について周知してまいりたいと考えております。

本市いたしましては、地域で把握した井戸を台帳等により管理するなどして、地域防災力を支援できるような協力体制を築いてまいりたいと考えておりますとの答弁。

災害時協力井戸の補助金についての質問

災害時協力井戸は、市民の命をつなぐ水である飲料水や生活用水になります。そのため多くの自治体が補助金を交付して、災害時の水の確保に積極的に取り組まれております。佐野市においても、補助金の交付をご検討頂きたいと質問致しました。

ご近所の飲料水用井戸



行政経営部長の答弁

防災、減災を推し進めるには、自助、共助、公助の連携が必要不可欠となります。災害時の共助において、地域で生活用水を確保するため、町会や自主防災会などが主体とした防災井戸新設や既存井戸の設置状況の把握など、地域ごとの現状を踏まえまして、どのような支援の方法ができるか、今後研究してまいりたいと考えておりますとの答弁。

災害時における水の確保についての質問

今年も7月の西日本の豪雨、台風21号、24号の暴風雨災害、北海道胆振東部地震などの自然災害が起り、多くの尊い命、貴重な財産が奪われ、避難生活を余儀なくされた人たちが大勢おいでになりました。そこで、避難所や被災された地域の人々にとって、何をおいても必要なのは水であります。そこで、水道管の破裂や損傷等により給水できなくなつた場合、災害時の対応マニュアルではどのような対応をすることになつておりますか？

水道局長の答弁

対応いたしましては、給水車による運搬給水や仮設給水所の設置及び浄水場や配水場での給水を行います。また、甚大な災害等により本市のみでの対応が困難な場合には、足利市、桐生市及び群馬東部水道企業団と構成しております両毛地域水道事業管理者協議会や栃木市、さらに日本水道協会とそれぞれ締結しております水道災害相互応援協定に基づきまして、他市への応援要請をいたしまして、給水を確保致しております。

また、飲料水の備蓄量につきましては、11月30日現在、2リットル及び500ミリリットル入りのペットボトルを合わせまして、約1万9000本、約2万2000リットル

を備蓄しておりますとの答弁。

市職員の任用についての質問

技能労務職員の方で意欲を持った職員や若い世代の職員もおいでになります。技能労務職の任用替え制度について、どのように捉え、取り組まれるのでしょうかとお伺い致しました。

行政経営部長の答弁

本市いたしましては、技能労務職の将来の方向性については、今まで明確には定めておらず、技能労務職員の自然減に合わせる形で民間委託等を進めてまいりました。今後は技能労務職の職種ごとの推移やあり方について整理した上で、一般行政職への任用替えの意向があるかどうかなどを確認してまいりたいと考えておりますとの答弁。

※11月議会の一般質問の答弁は、概ね前向きな答弁を頂けたかなと思っております。今後も、行政の取り組みを注視してまいりたいと思います。

佐野市は有史以来、天災地変の極めて少ない地域であります。そのため、防災意識が希薄になっている感が致しております。「災害は忘れた頃にやって来る」と先人の教えがありますので、防災の意識と備えをしっかりと取り組むことが大切であります。

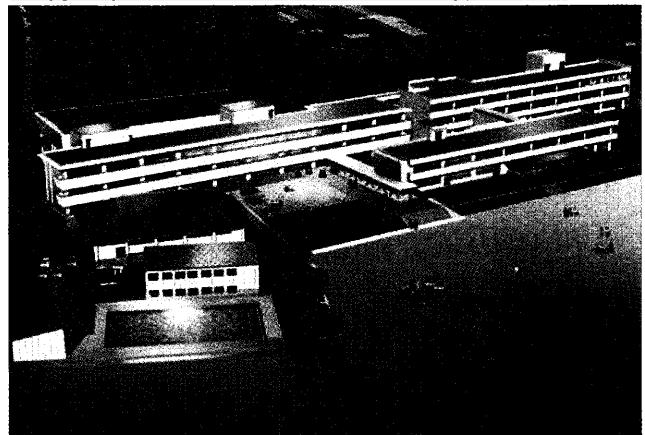
仙台市では、平成7年の阪神淡路大震災での水の問題を解消するため、公共施設60ヶ所に防災井戸(手押し式)を設置したため、平成11年の東日本大震災時に避難された方から大変喜ばれたとのことです。やはり、「備えあれば憂いなし」ですね。



仙台市の防災用井戸(手押し式井戸)

平成32年4月 開校

あそ野学園義務教育学校 (小中一貫校)



完成予想図(現田沼西中学校敷地内に設置)

あそ野学園義務教育学校は、田沼西中学校、田沼小学校、戸奈良小学校、三好小学校、山形小学校、閑馬小学校、下彦間小学校、飛駒小学校の1中学校と7小学校が一つの義務教育学校として新設されます。

開校時の学級数は、29学級(特別支援を含む)児童生徒数は、850人。教職員数は、45人です。

佐野市の義務教育のねらいは、9年間の連続した学びの中で、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図ることとしております。

平成27年1月に策定された「小中学校適正規模適正配置基本計画による目標年次ですと、田沼地区の後、平成34年に葛生地区、平成35年度以降において、赤見地区に義務教育学校を開校する計画であります。

あそ野学園義務教育学校主な工事費(契約額)

①プール建設工事	207, 284, 400円
②体育館工事費	549, 882, 000円
③校舎新築工事費	1, 470, 096, 000円
④校舎改修工事費	1, 064, 124, 000円
⑤プール・体育館解体費	47, 023, 200円
⑥自転車置場工事費	9, 180, 000円
⑦仮設校舎リース費	285, 852, 114円
合 計	3, 633, 441, 714円
継続費	4, 091, 274, 000円

平成30年9月定例会主な一般質問

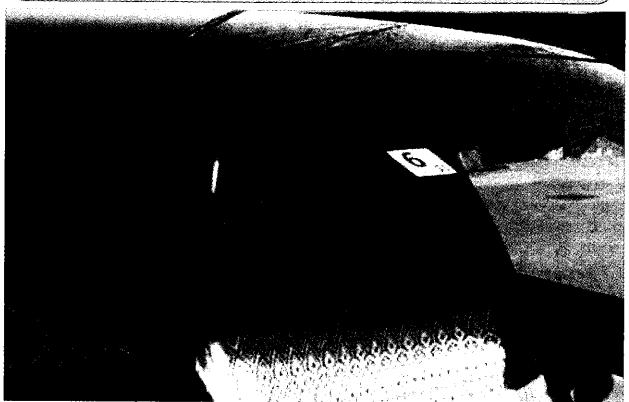
ゴルフ場利用税交付金を活用したまちの活性化についての質問

ゴルフ場を活かしたまちの活性化を実現するため、「佐野ゴルフ場連絡協議会」を立ち上げて頂きたい。また、佐野市もゴルフ利用税交付金を活用し、佐野市観光協会や関係団体、学校、地元企業、農家などと一体となり、千葉県市原市や兵庫県三木市のようにゴルファーやゴルフ場へ還元する事業に取り組んで頂きたい。

観光スポーツ部長の答弁

ゴルフ場が利用促進されることはスポーツツーリズムに貢献するだけでなく、一般財源であるゴルフ場利用税の確保にもつながるので、ゴルフ連絡協議会の設立は、他市の取り組みを参考に、今後調査研究していきたいと考えております。先進地の取り組みを本市で進めていくことについても、同様に研究していきたいと考えておりますとの答弁。

公用車の運用とドライブレコーダー設置についての質問



私の9月の一般質問後、議長車にドライブレコーダーが12月3日に設置されました。

ドライブレコーダーの効用は、事故が起きたとき過失責任の明確化や処理の迅速化が図られ職員の安全運転に対する意識の向上にもつながります。このように大きな効果が期待されることから「走る防犯カメラ」として、安心・安全のまちづくりを形成するため、公用車と青色回転灯装備車両の全車両に設置すべきと考えます。現在までに何台設置されたのでしょうか。

総合政策部長の答弁

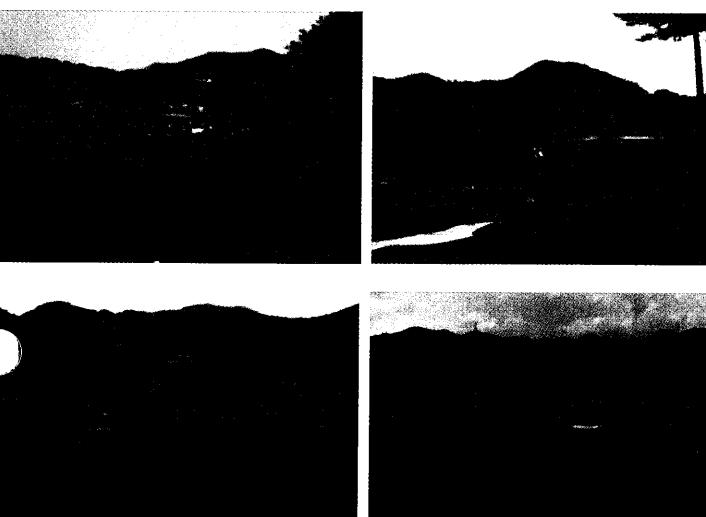
現時点では、公用車371台中、59台に設置しておりますとの答弁。

再質問 多額の予算を必要としないと思いますので、なるべく早く全車両に設置すべきと思います。

総合政策部長の答

ドライブレコーダーにつきましては、性能により高いもの、安いものございますが、できるだけ早く設置できるよう検討してまいりますとの答弁。

市長車は、平成31年1月に設置予定とのことです。
役所仕事は、何とも遅いですね！



佐野市のゴルフ場です。紙面の関係上4コースの掲載です。
どこのゴルフ場が分りますか？

市民の皆さんに問います。

佐野市議会内にゴルフ部があります。年2回県南6市親睦ゴルフ大会参加が主ですが、年1回現職ゴルフ部議員とOB議員との親睦ゴルフ大会が開かれます。私は、現職ですが故あってゴルフ部に未加入です。

今回は、平成30年10月6日に案内を頂きました。会場が12月26日(水)栃木市のあさひが丘カントリークラブとなっていました。例年、佐野市内のゴルフ場で開催しておりましたので大変驚きました。そこで、開催まで2ヶ月以上ありますので、佐野のゴルフ場へ変更したらと役員へお話ししましたが返答は無く、予定通り行われました。議員は、市民の代表であり、尚且つ、議員とOB議員との親睦ゴルフであれば、プレー費の多寡を問わず佐野のゴルフ場で開催すべきと考えます。私は当然欠席です。*皆さんのお考えをお聞かせ下さい。*

平成30年9月定例会主な一般質問

第2次佐野市教育大綱についての質問

第2次佐野市教育大綱の基本方針に「いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携」とあるが、3者の連携を構築するための具体的な取り組みをお伺いします。

教育長の答弁

本市では、学校、家庭、地域の連携を図り、いじめの問題について協議するために平成28年度から佐野市いじめ問題対策協議会を設置して、毎年会議を2回開催しています。本年度は5月21日に第1回目の会議を開催し、インターネットによるいじめへの対応について活発な意見交換や競技が行われました。また、中学校区毎に町会長、民生委員、保護者の代表、学校関係者などによる地域連携協議会を開催し、いじめ問題について定期的、継続的に協議しています。

教育長への要望

児童生徒間のいじめや教職員の不適切な行為保護者の理不尽な要求などゼロを目指して、学校家庭、地域が一体となり、問題意識を持って根絶に向け取り組んでいただくことを要望致しました。

東海第二原発の稼働延長を認めない 意見書の提出を求める陳情

平成30年6月議会に「原発いらない栃木の会」から陳情が提出されました。

東海村第二原発は、稼働後40年を経過し老朽化が激しいこと。福島第一原発の事故原因が未だ明確になっていないことなどの陳情です。

私は、基本的には原発は無くすべきであると思っています。何故なら、原子力の安全神話は、東日本大震災時の福島第一原発事故で脆くも崩れ、何十万人の被災者が生まれ故郷に帰れない状態が今も続いております。このような施設は次世代に遺してはならないと思うからであります。市民の安心安全を考えた場合、自ずと判断できると思います。

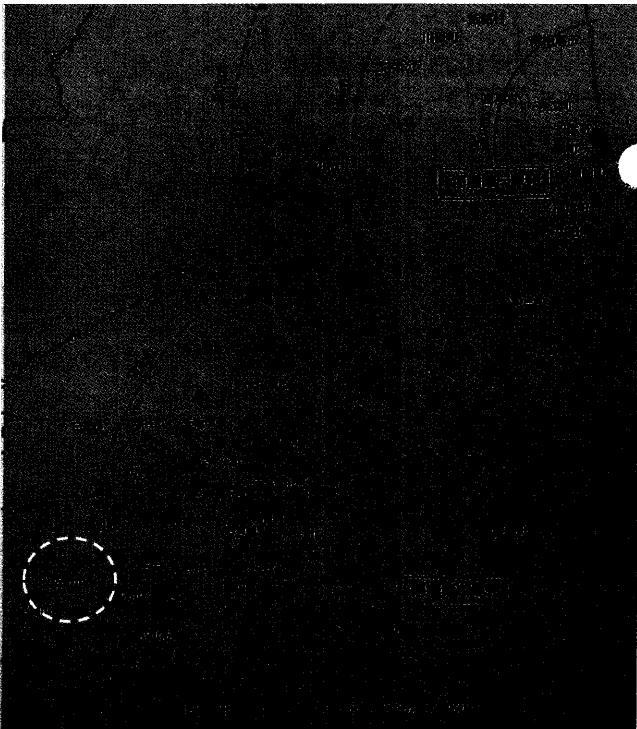
陳情に賛成議員は5人。①早川貴光 ②高橋 功
③岡村恵子 ④鶴見義明 ⑤金子保利 * 残念ながら、賛成少数のため不採択になりました。

保護者との対応マニュアルについての質問

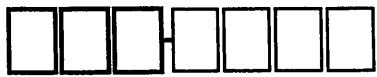
保護者との対応マニュアルは、保護者とのよりよい関係づくりを目指して、保護者からの理不尽な要求への対応マニュアルを平成21年2月に教育委員会で作成していただきました。教職員への周知、活用はどのように行ってきたのでしょうか？

教育長の答弁

教育委員会では、研修資料「保護者とのよりよい関係づくりを目指して」を平成21年2月に作成し、校長会議等で周知するとともに、市内小中学校に送付いたしました。各学校では、この資料を活用し、保護者とのよりよい関係づくりや理不尽な要求への対応策などについて、事例研究やロールプレーティングを取り入れた校内研修などを実施しております。また、弁護士に学校においていただきて、教職員へ法に基づいた対応策など、ご講話をいただいた学校もございます。さらには、昨年度は校長会議、教頭会議の中で、佐野警察署生活安全課長様を講師にお迎えをして、不当要求の適切な対応について研修をいたしました。さらに、今年度も市役所危機管理課職員による講話をいただきましたなど継続した研修を行っております。



陳情添付図面の一部



保 利
金子やすとし

E-mail yasutoshi@kaneko.name

〒327-0821 佐野市高萩町1206-6

携帯 090-3331-4257 ㈹ 22-2239